

(あ) うまれてない

(い) 小田急線沿線にイオンで12の頃の
車両の色が異なるとは面白かった。す
るういんば以前。用更にイオンで12の方
夕暮れに「ポーン」と小田急線の方から
汽車の音がしたと聞いていたことがあ
います。いつまで生きていたんですか?



(う) 40才 世田谷区 世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83



POST-NOVIE

(あ) 17才 生まれていません

(い) 小さい頃、一番好きだった遊びがなくなった。
近所で遊んでいた子供たちを見つくと、大きく成長して
もらってました。最近の子はあまりやってないかな。
寂しいけどさみしいなと思いました。
映像の途中で「お父さんが帰ってきたけど、一番好きは
お母さんだったのかな。」

(う) 43才 青森市

世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83



POST-NOVIE

(あ) -22歳 山口県(幼少期)

(い) 子供達が遊んでいる様子の、小さな女の子
が塀にもたれて、仲間に入りたい、
できる範囲でまわっている風なところに自分の
小さくても思い出した。いとこの中で私は
一番末っ子で、遊びについていけない、よくあの
ポジションになっていた。そのなりに楽しい。
あのポジションも 1955 S30-32

(う) 46歳 三鷹市

世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83



POST-NOVIE

(あ) 父親がうまれた頃 世田谷

(い) 祖母から聞いた話を度々思い出す。
昔はひどいあせ道だったこと、雨が降るとぐらぐら
になっていたこと。
当時はドライバーがなく髪をかかすのが大変
だった。(だからお風呂が多かったのかな?)
私が小さい頃は経堂の大きな踏切が渡れ
ず、泣き叫んでいたことを覚えています。
遠回りするなどが困らせていました。
祖母が話す風景が少し具体化したように
気がした。

(う) 40才 世田谷

世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83



参加者の記憶を媒介とした対面での「言葉の交流」を目的とする、せたがやアカカブの会。2022年度からは《ハガキ方式》での遠隔実施と対面実施を併用するハイブリッド開催です。今回、覧いただいた映像は「川開き、智子誕生日、雪」(No.14、昭和32年2月中旬撮影)でした。さて、どのような声が集まってきたのでしょうか。じっくりお楽しみください。



せたがやアカカブの会 The setagaya akakae circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。ほぼ毎月で開催。開催予定、上映内容は、生活工房HPまたはお問い合わせからご確認ください。一見さん大歓迎。本誌とかぶうずら、やまいもうなぎは、当金の断片的・公式活動記録。

穴アーカイブ: an-archive

せたがやアカカブの会 vol.37 (ハガキと対面のハイブリッド)

開催方法: アカカブの会々員に郵送した返信用ハガキに回答・返送してもらいました

開催日時: 2024年3月3日(日) 14:00~15:30

ハガキ募集期間: 2月8日~2月29日

回答数: 14名(郵送1名 対面13名)

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録2023 no.3
発行日: 2024年5月8日

お問い合わせ: 生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net
編集: せたがやアカカブの会世話人(松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな)
主催・発行: 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
http://www.setagaya-ldc.net/
企画制作: remo [NPO法人記録と表現とメディアのための組織]
後援: 世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。



穴アーカイブ: an-archive

記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30~50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、暮らしに光をあてる。2015年から始動。

(あ) 当時2才、渋谷と笹塚 POST-NOVIE

(い) 流石に乗り気は覚はるりのですが、当時は時間の流れ、世のなかの急激な変化も、小学校低学年時代は、そんな感じだった。でも、あの頃の子供の感情の作りかたは違うなあと、思いました。なにせ、その頃の時代感の、
クオオ
(う) のっつき、ザルになるので残念ですが言葉も今とは違っていた事と見られます。何かとつわられるとは、さう言えませんが、毎日、楽しく暮らして生きていました。何にも言えませんが、希望があった様に見える。明日、朝よりかならず思いのついでに無の確信があった様に見える。

No.14

「川開き、智子誕生日、雪」

昭和30年5月5日、31年4月、32年2月中旬 | 隅田川、皇居、日光東照宮など
19:37 | カラー

隅田川の川開きと花火、日光に旅行。



世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83



かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録 2023 no.3

1950頃

① 北区田端

② すみだ川 川南子 工業
とりの人が 都立 くらま 高校の生徒で
川南子の時は授業を 用いてくれて。夏休日で
観物にいらして。目の茶のぼり 心を 感じて
感やまいてかえり ました。

82才

「川開き、智子誕生日、雪」

昭和30年5月5日、31年4月、32年2月中旬 | 隅田川、皇居、日光東照宮など
19:37 | カラー
隅田川の川開きと花火。日光に旅行。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

(あ) -12才

(い) 昭和31年 北區戦後22年 (軽井沢市)
軽井沢は、北に武蔵野の山脈とあり。木々林が多い。阿房川の平野と
谷間に米倉前谷の道。北にカーニバルがある。昭和32年時代から現代に
近寄って(るま)の感じはカーニバル(の町)風景に似ている。子供は、洋服
が、カウチル。と、戦後10年とは異なる。
雪-スキー
木々林で、福知山の草鞋の、最新のスキーに似ていると思える。
ワタもスポンにセーター。今とは全然違う。

(う) 56才 世田谷大子堂

No.14

「川開き、智子誕生日、雪」

昭和30年5月5日、31年4月、32年2月中旬 | 隅田川、皇居、日光東照宮など
19:37 | カラー
隅田川の川開きと花火。日光に旅行。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

キャプチャー画像

No. 14 | 川開き、智子誕生日、雪 | 1955 (昭和30) 年 5 月 5 日、56 (昭和31) 年 4 月、57 (昭和32) 年 2 月中旬 | 隅田川、皇居、日光東照宮など | 19分37秒 | カラー

POST-NOVIE

(あ) △8歳

(い) お誕生会



今ある?

隅田川「川開き」とは、そもそも舟の行事の
「川開き」のお祝いに花火を打ち上げた?
いつもお母さんの視点を借りて、より深くみるこができる
のが、ありがたいと共に今日は探偵のようワクワク
感がありました

No.14

「川開き、智子誕生日、雪」

昭和30年5月5日、31年4月、32年2月中旬 | 隅田川、皇居、日光東照宮など
19:37 | カラー
隅田川の川開きと花火。日光に旅行。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

(あ) 生まれる前 マイナス1~2年 高井川区で産み育つ

(い) 住宅地のゴミ箱。本体はコンクリートで、前面に木の戸(?)
(引き上げると前面がオープンになる)、上のフタはトタンだった。
たしか、ポリ袋には入れず、直接生ゴミを入れていたような
雪のシーン。下が土だから、ころがすと泥ダレマになってしま
そういやがっかりした記憶があります。

(う) 66才 横浜市 *「これは戦後ではお話しが
たらないほど、戦後だったのだな...
まだ」
*当時、カラーフィルム。私の写真は白黒で

No.14

「川開き、智子誕生日、雪」

昭和30年5月5日、31年4月、32年2月中旬 | 隅田川、皇居、日光東照宮など
19:37 | カラー
隅田川の川開きと花火。日光に旅行。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

POST-NOVIE

(あ) 生まれていません 昭和55年秋 福徳県にいました

(い) 夫が 昭和30年2月生れで、宮坂1丁目育ち
ました。

経堂駅に車庫があり 踏切が長かったこと。
そこから惠泉線大方向にのびる商店街の
狭い道を踏切バスが通っていたこと等を
話してくれました。

今日は 竹の垣根やコンクリートの じんかい箱等
懐かしい物を見ることができて 良かったです

(う) 現在62歳 宮坂在住

隅田川の川開きと花火。経堂の住宅街で遊ぶ子どもたち。背景に小田急線の車庫。皇居周辺の桜や柳の並木。路面電車やボンネットバス、ジープなど。路上で煙草をふかす歩行者。日光への旅行。都内のフリーマーケットで販売されていたフィルムをたまたま購入した提供者の持ち込みにより、本映像はデジタル化に至った。

世田谷区

(あ) -1才~3才 笹塚

(い) なつかしい 路地風景でした。風俗としては
絵本の「3月となご月」のほいほいですね。
お寺は移動しないから 場所特定できず
面白かったです。

(う) 68才 大田区 蒲田本町

No.14

「川開き、智子誕生日、雪」

昭和30年5月5日、31年4月、32年2月中旬 | 隅田川、皇居、日光東照宮など
19:37 | カラー
隅田川の川開きと花火。日光に旅行。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

(あ) 16才 (昭.32)

(い) 雪と世田谷線

都会の雪 (降雪 5%以上) は、おととしめんどくさくなるのが解って
おととしはワクワク感がある。(すかり子供モード) 街に似合う風景は
「軽 世田谷線と雪」だと思ふ。最も記憶にあるフィルムを探して4
年8.2.18(日)で、三茶のF100777-1は完成しました。電車の型は
(1996)
おととしは177°(新型は1998頃から)で雪風景にピッタリでした。特
電車降り降りして、上野車庫。下高井戸まで 深山の写真を撮りました。

(う) 82才 世田谷区三宿



世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83